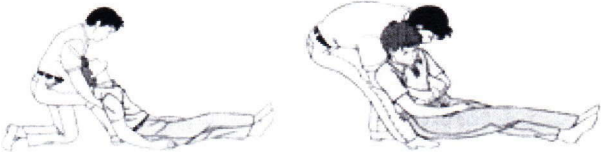
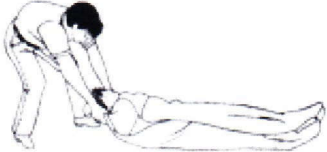
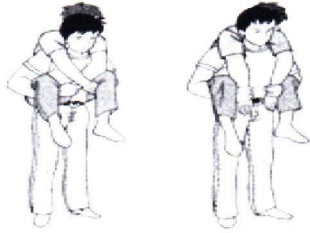



傷病者の搬送方法

負傷者等の搬送基本は、担架や車椅子を用いることです。徒手搬送は搬送手段がない場合の最終手段として考え、被搬送者に苦痛を与えず、安全に搬送することが大切です。

1名で搬送する方法

背部から後方へ移動させる方法	毛布・シーツを利用する方法
 <p>搬送者の後ろから、脇の下に手を入れ抱きかかえるように起こし、片方の腕を持ち、お尻をつりあげるように搬送します。</p>	 <p>毛布やシーツで全身を包み、両肩を浮かすように引っ張り、搬送します。</p>
背負って搬送する方法	横抱きで搬送する方法
 <p>被搬送者を背負い、膝の後ろから手を入れて、被搬送者の腕を持ちながら搬送します。</p>	 <p>小児・乳児や小柄な人を搬送する場合は、横抱きで搬送します。</p>

※ 傷病者の状態、負傷の部位により最も適した方法を選択し、状況の安定に努める。

1名で搬送する場合は、傷病者の胸腹部を圧迫することが多いので注意する。

1名による搬送は、やむを得ない場合にとどめ、努めて複数による搬送を心掛ける。

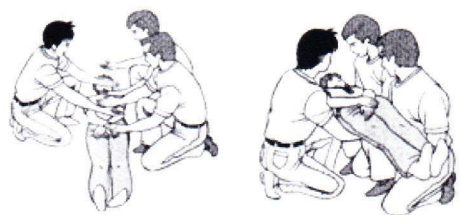
2名で搬送する方法

 <p>1人は背中側を抱え、もう1人は被搬送者の足を抱え、2人で同時に持ち上げ、足側から進んでゆきます。</p>	 <p>被搬送者の左右に向かい合い、進む方にある手をお互いに組みそこに被搬送者のお尻を当て、後ろから脇の下を抱えて座らせるようにして搬送します。</p>
---	--

※ 2名で搬送する場合は、傷病者の頸部が前屈する恐れがあるので気道の確保に留意する。

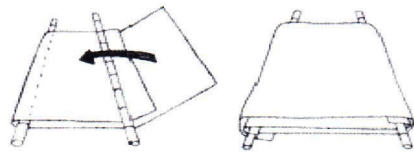
2名がお互いに歩調を合わせ、搬送に際して傷病者に動揺を与えないようにする。

3名で搬送する方法

	<p>被搬送者の頭側にある膝を立てて、3名の手が、すべて交互になるように手の位置を決め、3名が同時に被搬送者を持ち上げ、一度膝の上に被搬送者を乗せ、立ち上がって足側から搬送します。</p>
---	--

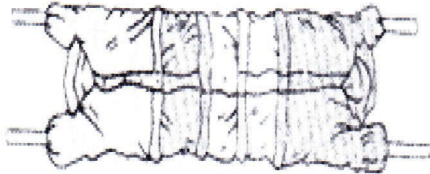
応急担架作成法

1) 竹竿と毛布による担架



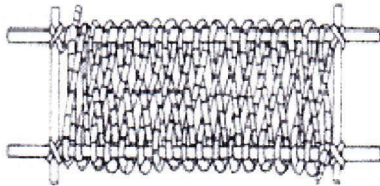
毛布の中央に竹竿を1本置き、片方の毛布を折り返す。患者の肩幅に合わせて2本目の竹竿を置き、上の毛布を折り返した後、下の毛布を折り返す。

2) 衣服を用いた応用担架



5枚以上の上着を準備し、上着のボタンを掛けたまま、両側から竹竿を通す。

3) ロープを用いた応用担架



棒2本を平行に並べ、その1本の端にロープを結ぶ。そのロープの端を他の棒の上から下に、又は、下から上にS字型に巻く。その要領で交互に巻いていき最後をくっしておく。

注意事項

担架で搬送する時は傷病者に不安感を与えないようにする。

担架に乗せる時は、傷病者の頭は後担い手の方にする。

搬送時に後担い手は、傷病者に声を掛け勇気をつける。